



ローレル



県立日立第一高等学校
附属中学校
学校だよりNo. 137
令和5年10月10日
生徒数240名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。

10月

「後期の開講式に寄せて」

校長 磯邊 裕一

「秋来(き)ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる」
この歌は、平安時代前期の勅撰（ちよくせん）和歌集である『古今和歌集』の秋の部の巻頭に収められており、作者は三十六歌仙の一人である藤原敏行（ふじわらのとしゆき）です。勅撰和歌集とは天皇が命じて作らせた歌集で、勅撰和歌集の第1号が古今和歌集です。現代語訳すると、「秋が来たとは、目に見える景色でははっきりとは見えないけれど、風の音で秋の訪れにハッと気付いた」ということです。この歌は立秋の日に詠まれているので、まだまだ暑い夏の盛りに秋の気配に気付いたということでしょう。今はもう10月ですから秋本番といったところですが、今年は9月下旬になっても暑い日が続き、ずっと夏が続いているようでした。気象台が100年以上観測している77地点において、今年9月の平均気温が過去最高という地点が60地点見られた^{*1}（約78%）そうです。月平均気温偏差（へんさ）^{*2}は、東日本で+3.1℃、西日本で+2.3℃となり、1946年の統計開始以降、9月として東・西日本では1位の記録的な高温であった^{*3}ということですから、過去最高に暑い9月だったと言えるでしょう。

10月に入り、ようやく涼しくなってきました。天高く馬肥ゆる秋、勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋と様々に言われますが、爽やかな秋は、何事にもじっくり取り組むのにふさわしい時季です。学校行事もたくさん予定されています。目的を意識して、しっかりと日々の活動に取り組んでください。そして、季節は移ろい、やがて冬が来、春が到来します。高校3年次生の皆さんは、初心を忘れず、最後まで粘り強く生活する時期です。長期戦には健康も大切になります。試験の時間にすべて出し切る瞬発力だけでなく、頭脳の持久力も養ってほしいと思っています。中学生の皆さん、身近にモデルとなる先輩がいます。秋の青空のように目標を高く掲げ、自分自身に言い訳をせず、そこに向けて着実に進んでいきましょう。

後期のスタートに当たり、1日1日が皆さんの力を高める日々となることを祈念します。

※1 2023年10月1日（日）午前7時のNHKニュースの気象コーナーから

※2 各月の平均気温の基準値（1991～2020年の30年平均値）からの偏差。偏差とは、個々の値と平均値との差

※3 2023年10月2日（月）気象庁発表

◇ 10月の主な予定 ◇

- 10日（火）3学年体験入部（～20日）
- 12日（木）委員会活動
- 16日（月）代休（10月21日分）
- 18日（水）県北駅伝
- 19日（木）体育祭（中高合同）
- 20日（金）体育祭予備日・県新人水泳（～21日）
- 21日（土）ホームルームセミナー（生徒登校日・弁当持参）
- 23日（月）2学年語学研修（～25日）
- 24日（火）県新人戦（～30日）・3学年正式入部
- 28日（土）創立記念日

◇ 11月の主な予定 ◇

- 1日（水）さわやかマナーアップ
職場体験学習（3年）
- 3日（金）文化の日
- 5日（土）英検2次
- 8日（水）ヒカリモ・地層見学会
- 9日（木）委員会活動・県駅伝
- 10日（金）第3回外部模試
- 13日（月）県民の日
- 14日（火）マラソン大会
- 15日（水）マラソン大会予備日（弁当持参）
- 16日（木）避難訓練
- 20日（月）第3回定期考査（～21日）
- 29日（水）合唱発表会（日立市民会館）

◆ 祝！ 科学の甲子園ジュニア全国大会出場！ ◆

9月22日に、過日行われた科学の甲子園ジュニア県大会の結果が発表されました。本校2年生の大谷 優惺さん・久保 香菜さん・名越 結音さんの附属中Aチームは、筆記競技と実技競技を合わせた総合成績で優勝にあたる県知事賞を受賞しました。特に筆記競技は優れており、全チームの中で1位を獲得しました。Aチームは、準優勝の土浦一高附属中学校のチームとともに12月8～10日に兵庫県姫路市で開催される科学の甲子園ジュニア全国大会に出場します。

全国大会でもみんなで力を合わせて、全国の強豪校と戦ってほしいと思います。応援よろしくお祈りします。



◆ 附属中 公開授業 ◆

9月18日（月）には、附属中公開授業が行われました。今年度は小学5・6年生対象にしたことで、受付開始当日から応募がたくさんあり、約270組の小学生とその保護者の方が授業を参観しました。各クラスでは、実験や各班で調べた学習内容の発表、グループでの学び合いなど様々な授業が展開されていました。附属中生の授業を受ける真剣な姿を小学生が憧れの眼差しで見っていたのが印象的でした。

附属中の生徒の中には、公開授業を見て本校に入りたいと思った生徒もいます。この日の授業も小学生の印象に強く残ったものとなったと思います。



◆ 学校訪問 ◆

9月20日（水）に勝田中等教育学校の先生方が、本校の授業の様子を参観に来ました。

県内の中高一貫校では積極的に授業を参観することで、教職員の授業力の向上を行っています。国語・数学・英語の授業を公開し、それぞれの教科の先生が参観しました。参観した先生からは「生徒たちの学ぶ姿勢が素晴らしい」と、感心していました。



9月27日（水）には、沖縄県の中高一貫校である名護高校・附属桜中学校と球陽高校・附属中学校から8名の教育視察団が本校の授業を参観しました。茨城県は全国で最多の13校の中高一貫校があります。視察団の先生からは、茨城県の中高一貫校の中でも歴史がある本校の様子を知り、沖縄県の中高一貫教育に役立てたいとのことでした。この日は教室で行っている授業を全て公開しました。視察団の先生からは、「中学と高校がすぐ近くで生活することで、お互いのよいところを見ることができ環境がいいですね」と感想をいただきました。

